

# 2015年 院内がん登録

## 部位(登録数) 上位5部位

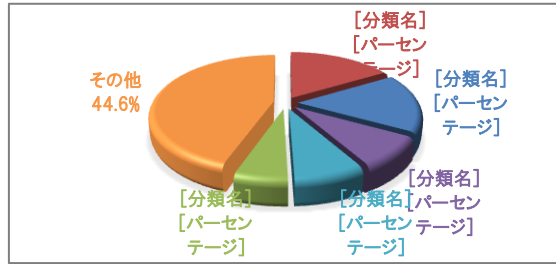
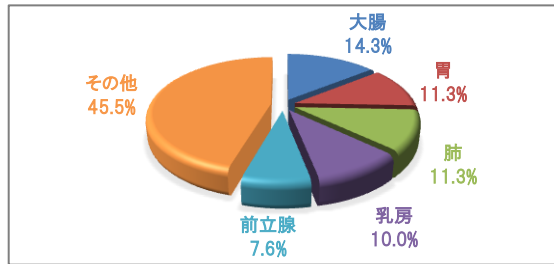
全国集計(2014年)

	男	女	合計	構成比
大腸	55,286	36,782	92,068	14.3%
胃	51,019	21,815	72,834	11.3%
肺	49,400	23,199	72,599	11.3%
乳房	364	63,831	64,195	10.0%
前立腺	48,830	0	48,830	7.6%

幡多けんみん病院(2015年)

	男	女	合計	構成比
胃	75	36	111	16.5%
大腸	71	40	111	16.5%
乳房	0	58	58	8.6%
前立腺	53	0	53	7.9%
肺	25	15	40	5.9%

・上位5部位は全国集計と同じ部位、当院は胃と大腸が多く、次いで乳房・前立腺・肺となっている。全国と比べ肺が少ないのは当院に専門医が不在であることが考えられる。



## 年齢階層別

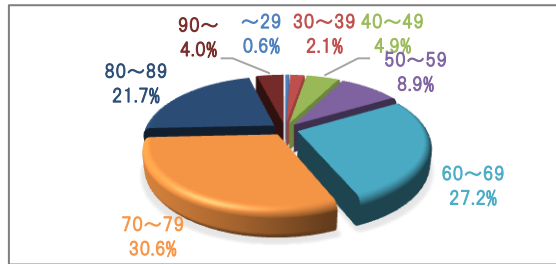
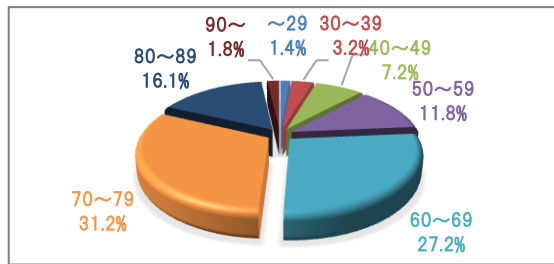
全国集計(2014年)

	男	女	合計	構成比
～29	3,584	5,701	9,285	1.4%
30～39	4,667	16,140	20,807	3.2%
40～49	12,331	33,691	46,022	7.2%
50～59	35,373	40,377	75,750	11.8%
60～69	107,733	67,282	175,015	27.2%
70～79	130,733	70,354	201,087	31.2%
80～89	61,230	42,609	103,839	16.1%
90～	4,718	6,957	11,675	1.8%

幡多けんみん病院(2015年)

	男	女	合計	構成比
～29	1	3	4	0.6%
30～39	1	13	14	2.1%
40～49	4	29	33	4.9%
50～59	20	40	60	8.9%
60～69	109	74	183	27.2%
70～79	121	85	206	30.6%
80～89	82	64	146	21.7%
90～	9	18	27	4.0%

・全国と比較し当院は高齢者の割合が高くなっている(当院60才以上83.5%、全国では76.4%)。男女別に見ても若年層(59才以下)では女性が多く、高齢者では男性が多い(全国・当院ともに)



## 来院経路

全国集計(2014年)

	合計	構成比
自主	53,209	8.3%
紹介 他院より	451,402	70.2%
紹介 がん検診	13,692	2.1%
紹介 健康診断	6,095	0.9%
紹介 人間ドック	5,162	0.8%
他疾患経過観察中	106,918	16.6%
剖検	250	0.0%
その他	6,613	1.0%
不明	139	0.0%

幡多けんみん病院(2015年)

	合計	構成比
自主	143	21.2%
紹介 他院より	343	51.0%
紹介 がん検診	36	5.3%
紹介 健康診断	0	0.0%
紹介 人間ドック	3	0.4%
他疾患経過観察中	148	22.0%
剖検	0	0.0%
その他	0	0.0%
不明	0	0.0%

・全国に比べ自主が多く、他院からの紹介は少ない、がん検診・健康診断・人間ドックの割合は若干高い、経過観察中の発見もやや高くなっている。剖検・その他・不明は当院ではなし。

## 症例区分

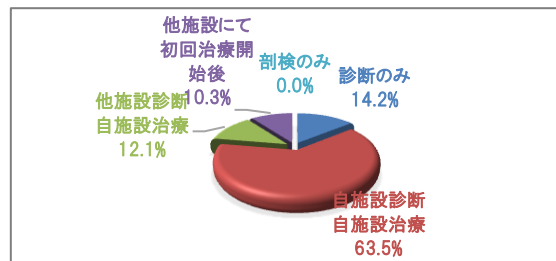
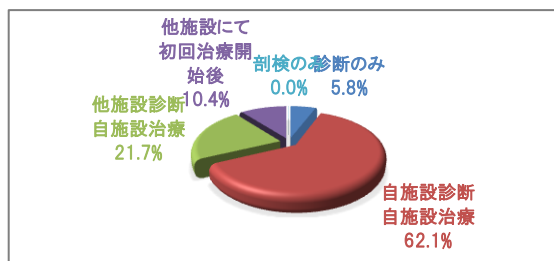
全国集計(2014年)

	合計	構成比
診断のみ	37,126	5.8%
自施設診断自施設治療	399,409	62.1%
他施設診断自施設治療	139,655	21.7%
他施設にて初回治療開始後	67,032	10.4%
剖検のみ	258	0.0%

幡多けんみん病院(2015年)

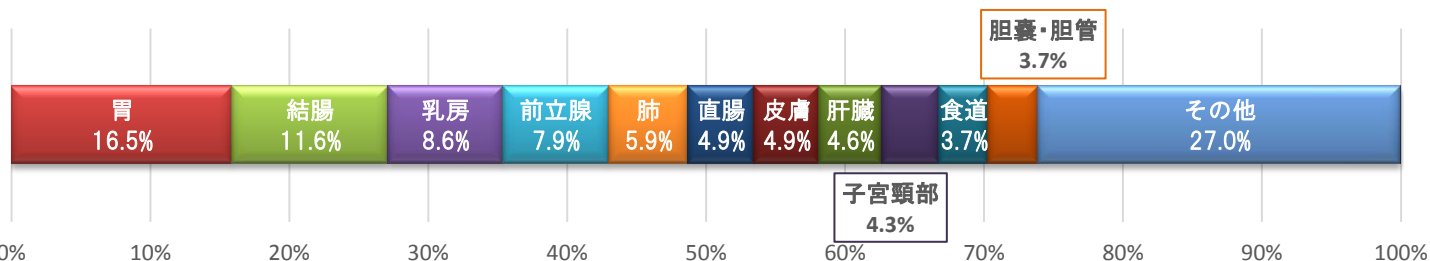
	合計	構成比
診断のみ	94	14.2%
自施設診断自施設治療	421	63.5%
他施設診断自施設治療	80	12.1%
他施設にて初回治療開始後	68	10.3%
剖検のみ	0	0.0%

・全国と比較し診断のみの割合が高い、自施設診断自施設治療・初回治療開始後はほぼ同じ割合。他施設診断自施設治療の割合は低い



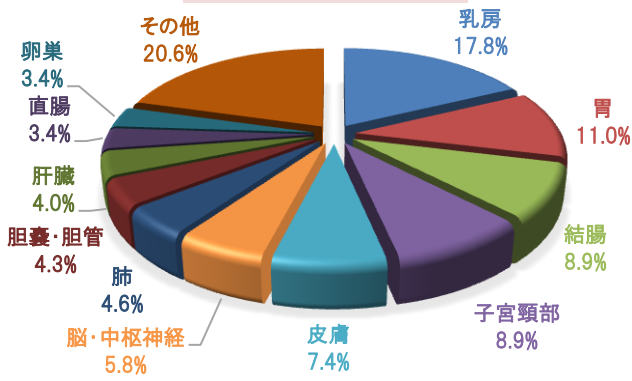
# ＜高知県立幡多けんみん病院 2015年 院内がん登録(詳細)＞

		性	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～	総計	件数	比率
口腔・咽頭	女				2		2	1	1		6	16	2.4%
	男				1		3	4			10		
食道	女					2	1	1	1		5	25	3.7%
	男					1	7	9	3		20		
胃	女			1		6	5	15	7	2	36	111	16.5%
	男				1	5	21	32	16		75		
結腸	女				1	4	6	8	8	2	29	78	11.6%
	男		1	1	2	21	12	9	3	3	49		
直腸	女					1	6	2	2		11	33	4.9%
	男				1	2	5	10	4		22		
肝臓	女				1		2	6	2	2	13	31	4.6%
	男					1	7	4	6	2	18		
胆嚢・胆管	女						1	4	8	1	14	25	3.7%
	男					1	1	2	7		11		
膵臓	女			1				3	4		8	20	3.0%
	男						5	4	2	1	12		
喉頭	女						1				1	5	0.7%
	男						1	2	1		4		
肺	女					2	1	7	3	2	15	40	5.9%
	男					2	8	6	7	2	25		
骨・軟骨	女		1			1					2	2	0.3%
	男										0		
皮膚	女						2	10	7	5	24	33	4.9%
	男						2	4	3		9		
乳房	女			2	7	11	24	8	6		58	58	8.6%
	男									0			
子宮頸部	女		2	9	6	3	6	3			29	29	4.3%
	男									0			
子宮体部	女				1	2	2	3		1	9	9	1.3%
	男									0			
卵巣	女			1	5	1	4				11	11	1.6%
	男									0			
前立腺	女					2	16	22	13		53	53	7.9%
	男									0			
膀胱	女				1		2	2	2		7	16	2.4%
	男						4	2	2	1	9		
腎・他の尿路	女					1	2	1	2	1	7	16	2.4%
	男						5	3	1		9		
脳・中枢神経系	女				3	4	1	5	5	1	19	24	3.6%
	男						1		4		5		
甲状腺	女						1				1	1	0.1%
	男										0		
悪性リンパ腫	女					2	2	1	2		7	16	2.4%
	男					1		4	4		9		
多発性骨髄腫	女										0	0	0.0%
	男										0		
白血病	女										0	1	0.1%
	男						1				1		
他の造血器	女				1		2				3	5	0.7%
	男							1		1	2		
その他	女					1	1	5	4	1	11	15	2.2%
	男	1					1			1	4		
総計	女		3	13	29	40	74	85	64	18	326	673	100.0%
	男	1		1	4	20	109	121	82	9	347		



◇2015年院内がん登録件数は前年より+5.8% 登録数の多い部位は、1位-胃(+2.0%)、2位-結腸(+1.3%)、3位-乳房(+1.4%)、4位-前立腺(+0.9%)、5位-肺(+0.8%)、6位-直腸(+0.3%)・皮膚(-1.1%)、8位-肝臓(-0.3%)、9位-子宮頸部(+1.3%)、10位-食道(+0.3%)・胆嚢・胆管(+2.2%)の順になっている。上位の部位は増加しているが、その他(-3.3%)が大きく減少している。

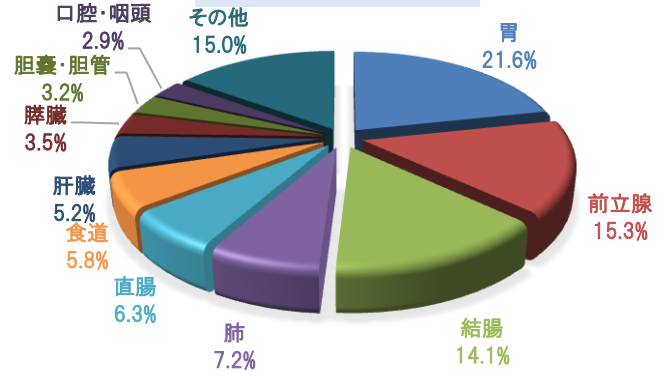
### 上位10部位(女)



◇乳房、胃、結腸は前年と同じく女性の上位を占めている。しかし、その割合は若干減少。前年上位に無かった脳・中枢神経、胆嚢・胆管、卵巣が上位10部位に入ってきた。

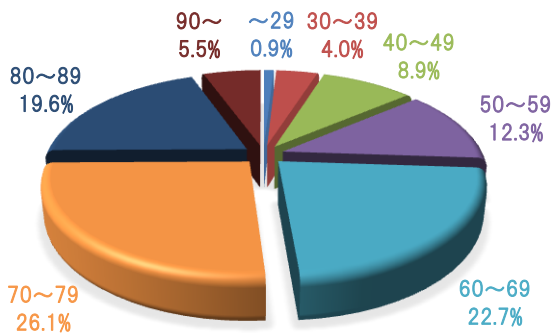
◇上位10部位だけで約8割を占めている。

### 上位10部位(男)



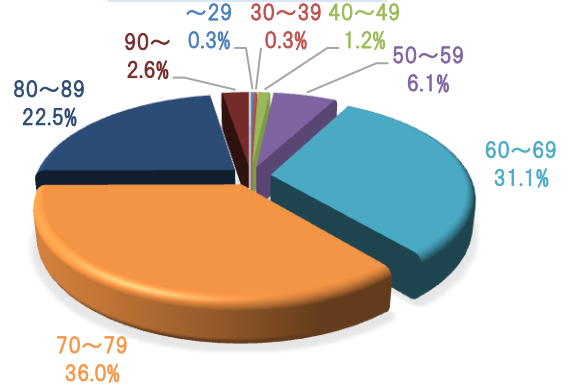
◇胃、前立腺、結腸で男性全体の約5割を占めており、前立腺が前年の3位から2位に上がっている。前年上位に無かった膵臓、胆嚢・胆管が上位10部位に入ってきた。

### 年齢階層別(女)



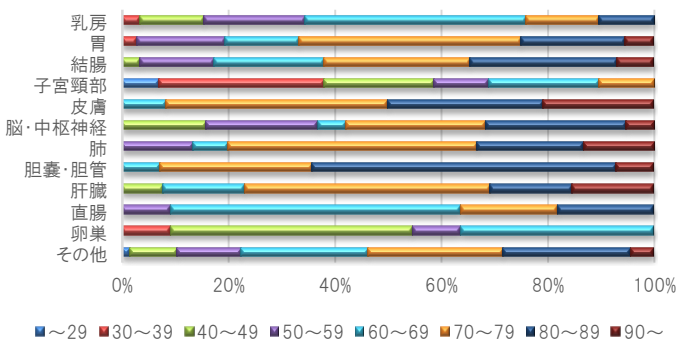
◇60才以上の方が4分の3を占めており、この割合は前年とほぼ変わりなし。なかでも70代が最も多く、次いで60代、80代となっている。前年多かった90代は減少した。

### 年齢階層別(男)



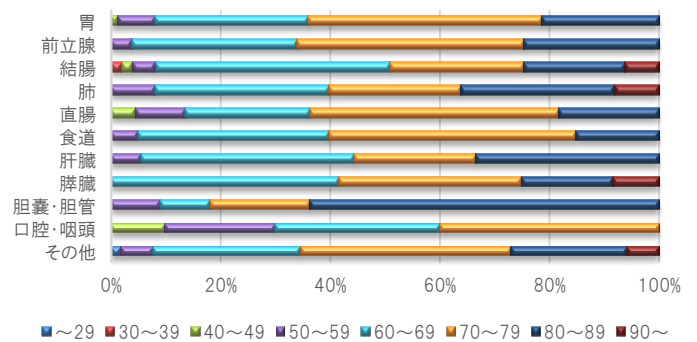
◇60才以上の方が9割以上占め、前年より割合は増加。60代、70代、80代と全てで割合は増えている。

### 上位10部位/年齢階層別(女)



◇乳房…閉経後の50代以降件数が増加し、60代が最も多い。  
 ◇胃…50代以降増え、70代が最も多い。  
 ◇結腸…50代以降増え、70代・80代が多くなっている。

### 上位10部位/年齢階層別(男)

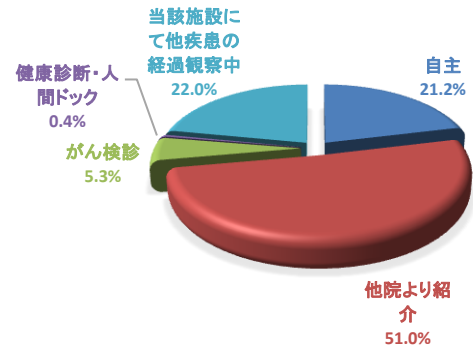


◇胃…50代以降より増加。70代が最も多く、次いで60代・80代が多い。  
 ◇前立腺…70代・60代・80代の順に多い。  
 ◇結腸…60代が最も多く、70代・80代と続く

## 《来院経路》

※当該腫瘍の診断・治療のため自施設を受診した経路。  
がん患者がどのような経路により自施設を受診したのかを把握できる。

	自主	他院より紹介	がん健診	健康診断・人間ドック	当該施設にて他疾患の経過観察中	総計
口腔・咽頭	2	14				16
食道	5	15			5	25
胃	10	72	3		26	111
結腸	18	38	5		17	78
直腸	7	20	1		5	33
肝臓	3	17			11	31
胆嚢・胆管	2	17			6	25
膵臓	6	10			4	20
喉頭	1	3			1	5
肺	5	26	1		8	40
骨・軟骨	1	1				2
皮膚	14	18			1	33
乳房	19	26	10		3	58
子宮頸部	8	3	9		9	29
子宮体部	2	3			4	9
卵巣	5	4			2	11
前立腺	6	17	7	1	22	53
膀胱	9	5			2	16
腎・他の尿路	3	4			9	16
脳・中枢神経系	12	7		1	4	24
甲状腺		1				1
悪性リンパ腫	2	7		1	6	16
多発性骨髄腫						0
白血病		1				1
他の造血器		5				5
その他	3	9			3	15
合計	143	343	36	3	148	673



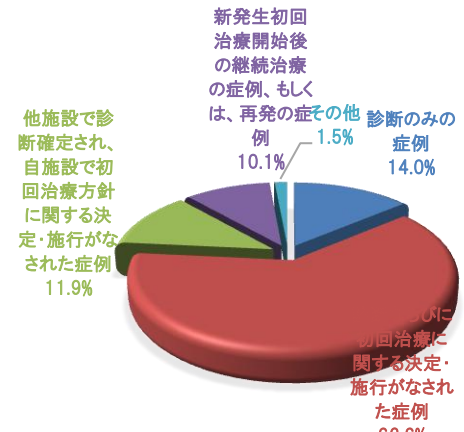
◇前年比、自主(-3.0%)、他院より紹介(+3.5%)、がん検診(-0.2%)、健康診断・人間ドック(-0.3%)、他疾患経過観察中(+5.8%)

◇紹介の方が最も多く、約半分以上が紹介にて来院している。他疾患の経過観察中・自主来院はほぼ同じ件数。がん検診・健康診断・人間ドックは例年通り少ない。紹介での来院が多いことから、地域の中核病院としての役割を果たしていると思われる。

## 《症例区分》

※がん診療連携拠点病院が、がんの診断から再発の治療までの一連の流れの中で、主にどのような役割を果たしているのかを推察するための項目の一つ。

	診断のみの症例	診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例	他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行がなされた症例	新発生初回治療開始後の継続治療の症例、もしくは、再発の症例	その他	総計
口腔・咽頭	8	1		6	1	16
食道	1	14	7	3		25
胃	10	57	39	3	2	111
結腸	3	60	14	1		78
直腸	1	24	8			33
肝臓	3	26	1	1		31
胆嚢・胆管	1	23		1		25
膵臓	3	17				20
喉頭	1	3	1			5
肺	13	6	3	17	1	40
骨・軟骨		1		1		2
皮膚	1	29	2		1	33
乳房	8	32		17	1	58
子宮頸部	6	21	2			29
子宮体部		9				9
卵巣	2	7	1	1		11
前立腺	12	35		2	4	53
膀胱	2	13		1		16
腎・他の尿路	7	7		2		16
脳・中枢神経系	2	20	1	1		24
甲状腺				1		1
悪性リンパ腫	5	6	1	4		16
多発性骨髄腫						0
白血病				1		1
他の造血器		2		3		5
その他	5	8		2		15
合計	94	421	80	68	10	673



◇前年比、診断のみの症例(-2.4%)、診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例(+7.4%)、他施設で診断確定され自施設で初回治療方針に関する決定・施行がなされた症例(-0.9%)、新発生初回治療開始後の継続治療の症例もしくは再発の症例(+1.6%)、その他(+0.2%)

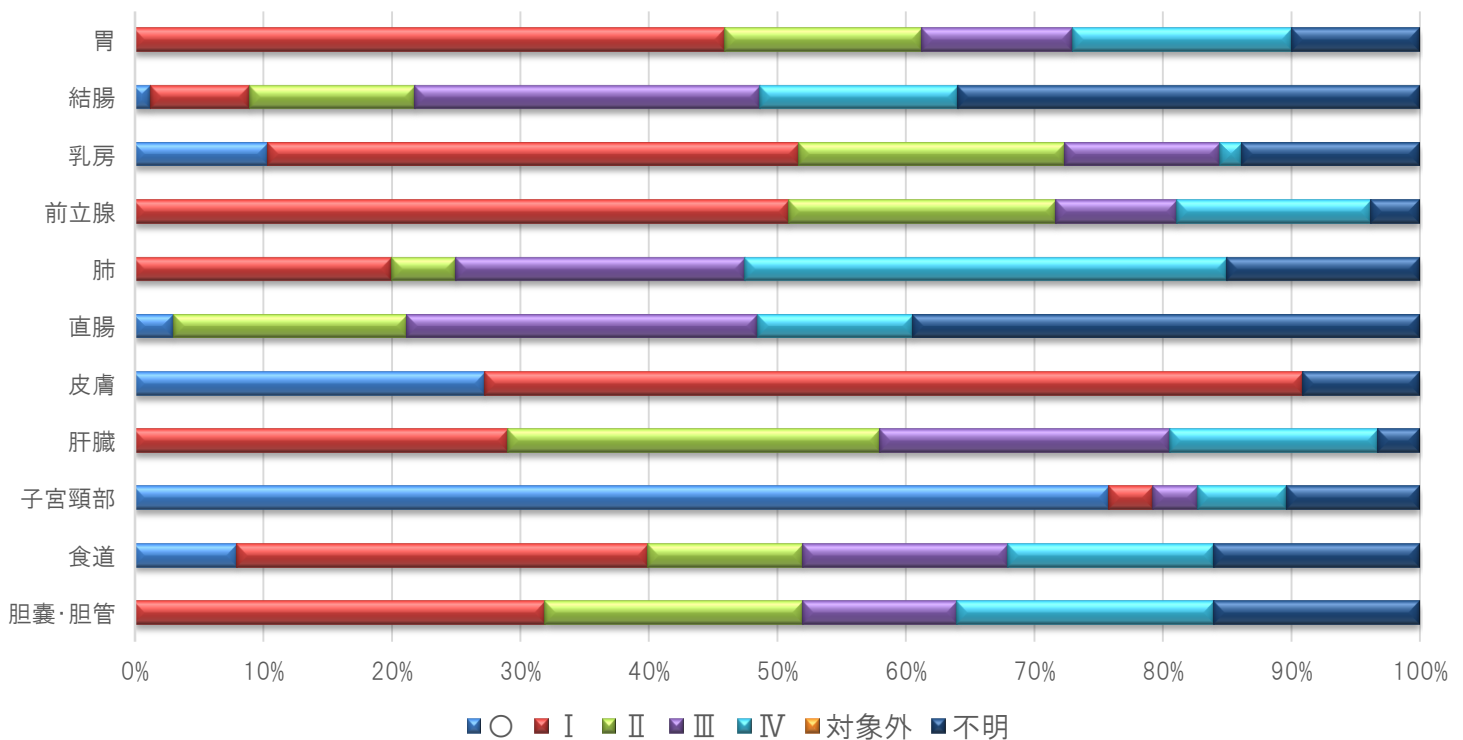
◇診断のみの症例は減少した。当院での初回治療は増加しており、自施設で診断された方、紹介で来院された方の初回治療が出来ている。

# 《治療前ステージ》

※UICCの取り決めに従い、診断時の「T」「N」「M」各区分に相当するステージを記録する。婦人科領域では、TNMの代わりにFIGO分類が使われ、この場合のステージはUICCによるものと基本的に一致する。悪性リンパ腫についてはTNM分類におけるAnnArbor分類を用いる。脳腫瘍・白血病に関しては考慮しない。

	○	I	II	III	IV	対象外	不明	総計
口腔・咽頭		1		4	8		3	16
食道	2	8	3	4	4		4	25
胃		51	17	13	19		11	111
結腸	1	6	10	21	12		28	78
直腸	1		6	9	4		13	33
肝臓		9	9	7	5		1	31
胆嚢・胆管		8	5	3	5		4	25
膵臓		3	2	4	10		1	20
喉頭		2	1	1			1	5
肺		8	2	9	15		6	40
骨・軟骨		1					1	2
皮膚	9	21					3	33
乳房	6	24	12	7	1		8	58
子宮頸部	22	1		1	2		3	29
子宮体部		2			3		4	9
卵巣				5	1		5	11
前立腺		27	11	5	8		2	53
膀胱	9	4		2			1	16
腎・他の尿路		5	3		5		3	16
脳・中枢神経系						24		24
甲状腺							1	1
悪性リンパ腫		2	2	1	8		3	16
多発性骨髄腫								
白血病						1		1
他の造血器						5		5
その他		2		2	4	4	3	15
合計	50	185	83	98	114	34	109	673

## ◇◇◇ 上位10部位 ◇◇◇



◇治療前ステージ ○期…7.4%、I期…27.4%、II期…12.3%、III期…14.6%、IV期…16.9%、対象外・その他…17.8%

◇上位部位毎では、胃…I期(45.9%)、結腸…III期(26.9%)、乳房…I期(41.4%)、前立腺…I期(50.9%)、肺…IV期(37.5%)

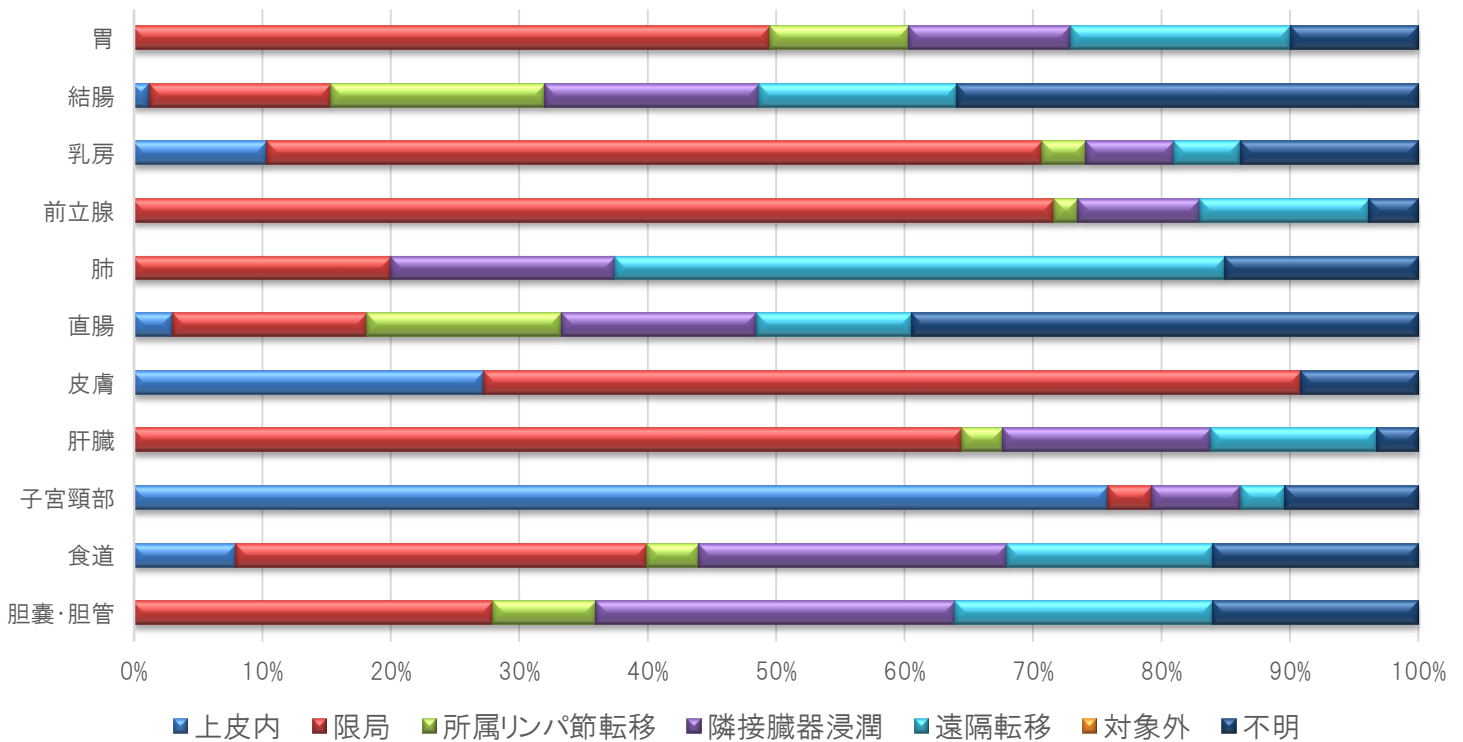
※臨床診断（治療前の状態）のため「病期ステージ不明」が多くなっている。

# 《治療前 進展度》

※別名(臨床進行度)ともいわれ、地域がん登録で採用されてきた分類方法。趨勢変化(時系列的な比較)や施設間での比較に有効である。  
 ※進展度(治療前)は、手術対象とならなかった症例と手術対象となった症例との両方で把握が可能である。

	上皮内	限局	所属リンパ節転移	隣接臓器浸潤	遠隔転移	対象外	不明	総計
口腔・咽頭		1	3	9			3	16
食道	2	8	1	6	4		4	25
胃		55	12	14	19		11	111
結腸	1	11	13	13	12		28	78
直腸	1	5	5	5	4		13	33
肝臓		20	1	5	4		1	31
胆嚢・胆管		7	2	7	5		4	25
膵臓		3		6	10		1	20
喉頭		3	1				1	5
肺		8		7	19		6	40
骨・軟骨		1					1	2
皮膚	9	21					3	33
乳房	6	35	2	4	3		8	58
子宮頸部	22	1		2	1		3	29
子宮体部		2		1	2		4	9
卵巣				5	1		5	11
前立腺		38	1	5	7		2	53
膀胱	9	4		2			1	16
腎・他の尿路		8		2	3		3	16
脳・中枢神経系						24		24
甲状腺							1	1
悪性リンパ腫		2		2	9		3	16
多発性骨髄腫								0
白血病						1		1
他の造血器						5		5
その他		1		5	2	4	3	15
合計	50	234	41	100	105	34	109	673

## ◇◇◇ 上位10部位 ◇◇◇



◇進展度(治療前)、上皮内…7.4%、限局…34.7%、所属リンパ節転移…6.1%、隣接臓器浸潤…14.9%、遠隔転移…15.6%、不明…16.2%、対象外…5.1%

※治療前ステージと同様に、臨床診断(治療前の状態)なので「不明」が多くなっている。

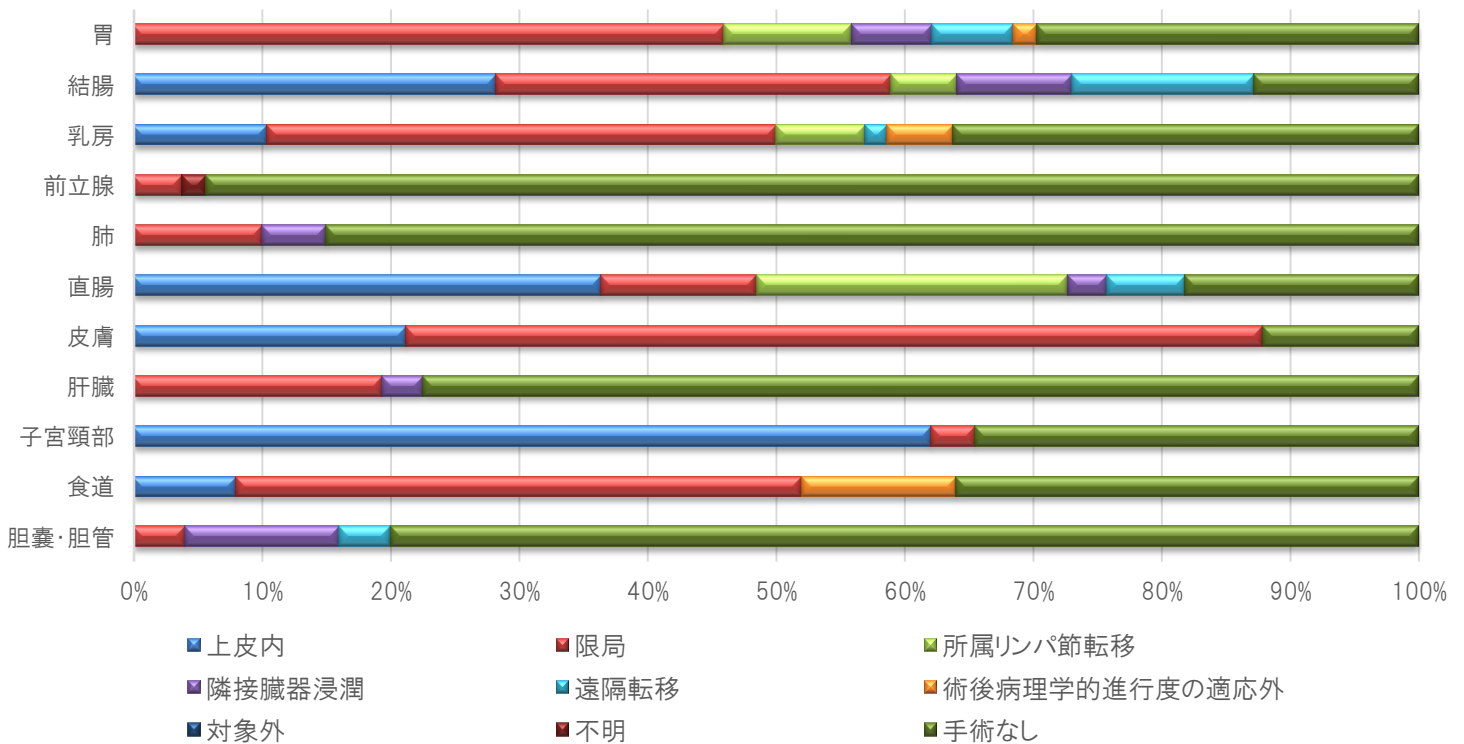


# 《治療後 進展度》

※進展度(術後病理学的)は、手術摘出検体をもとに行われた病理組織的診断により補完して判断する。  
 ※腫瘍縮小を目的とした化学療法・放射線療法の後、手術を施行した場合は「術後病理学的進行度の適用外」とする。

	上皮内	限局	所属リンパ節転移	隣接臓器浸潤	遠隔転移	術後病理学的進行度の適用外	対象外	不明	手術なし	総計
口腔・咽頭			1	2					13	16
食道	2	11				3			9	25
胃		51	11	7	7	2			33	111
結腸	22	24	4	7	11				10	78
直腸	12	4	8	1	2				6	33
肝臓		6		1					24	31
胆嚢・胆管		1		3	1				20	25
膵臓				2					18	20
喉頭		1							4	5
肺		4		2					34	40
骨・軟骨		1							1	2
皮膚	7	22							4	33
乳房	6	23	4		1	3			21	58
子宮頸部	18	1							10	29
子宮体部		6							3	9
卵巣		2		4	2				3	11
前立腺		2						1	50	53
膀胱	8	1							7	16
腎・他の尿路		1							15	16
脳・中枢神経系							24			24
甲状腺			1							1
悪性リンパ腫									16	16
多発性骨髄腫										0
白血病							1			1
他の造血器							5			5
その他		1		2			4		8	15
合計	75	162	29	31	24	8	34	1	309	673

## ◇◇◇ 上位10部位 ◇◇◇



◇進展度(治療後)、上皮内…11.1%、限局…24.1%、所属リンパ節転移…4.3%、隣接臓器浸潤…4.6%、遠隔転移…3.6%、術後病理学的進行度適用外…1.2%、対象外…5.1%、手術なし…45.9%

※「手術なし」には、診断後他施設へ紹介した分、経過観察の分、他施設治療後の分を含んでおり多くなっている。

# 《初回治療情報》

※原発巣・転移巣のがん組織に対して行われた治療(がん組織の増大傾向を止めたり、切除したり、消失させたりする行為)。がん組織に対するものではなくても、がんによる症状の緩和・軽減のために行われた特異的な治療(吻合術などの外科的手術)。症状の軽減を及ぼすことを意図して行われた場合も含む。

	当院初回治療														当院初回治療なし				総計				
	手術のみ	手術+放射+薬物療法	手術+薬物療法	手術+レーザー	腹腔鏡のみ	腹腔鏡+薬物療法	内視鏡のみ	内視鏡+薬物療法	放射線療法のみ	放射線+薬物療法	薬物療法のみ	TACE	TACE+レーザー	TAE	レーザーのみ	その他の治療	経過観察	来院中断		治療開始後(継続治療)	治療開始後(経過観察)	他施設紹介(治療依頼)	他施設紹介(経過観察)
口腔・咽頭									1							4	1	2		6	2	16	
食道	3		1		1	1	9		5							3		1		1		25	
胃	13		18		14	4	34			8						5	1	3		9	2	111	
結腸	21		13	1	12	2	24			1						1				3		78	
直腸	6		1			9	13			2						1				1		33	
肝臓	7						1			2	3	1	3	2		8	1	1		2		31	
胆嚢・胆管	4		1				13	2		3									1		1	25	
膵臓	2		1				4	1		8						1				2	1	20	
喉頭							1		3											1		5	
肺					1				5	1						9		10		9	5	40	
骨・軟骨	1																		1			2	
皮膚	29									2							1			1		33	
乳房	7	2	14							1	7					4	1	14		8		58	
子宮頸部	18	1							1	1						2	1			5		29	
子宮体部	2		3		1					2						1						9	
卵巣			7		1												1		1	1		11	
前立腺	2								2	21						11		1		15	1	53	
膀胱						9		1		2						1		1		2		16	
腎・他の尿路	1								1	3						2			1	7	1	16	
脳・中枢神経系	8															14				2		24	
甲状腺																1						1	
悪性リンパ腫								2								7		1	1	5		16	
多発性骨髄腫																							
白血病																1						1	
他の造血器																1	2		2			5	
その他			2				3		1							3		1		5		15	
合計	124	3	61	1	30	16	111	3	15	11	60	3	1	3	2	1	81	7	37	5	85	13	673

## ◇◇◇ 上位10部位 当院初回治療あり ◇◇◇

